

まちづくりの思い本に

まちづくりへの住民参加が一九九五年七月に同町企
を促そうと、熊本県宮原町 画調整課内に「まちづくり



熊本・宮原町の民間団体

支援組織設置から10年

「まちづくりの伝道師達」を出版した宮原好きネットのメンバーたち

きる拠点をつくり出すと、同町役場前で銀行支店として使われていた建物内に設置。さまざまなイベントやまちづくりに関する勉強会などを展開してきた。

好きネットは、情報銀行で泊まり込みの研修を体験してきた全国の大学生や地元の中高生らが中心となり、昨年三月に発足。好きネット支配人で同町職員の岩本剛さん(四三)が「合併を前にこれまでのまちづくりを振り返り、今後十年の展望を描こう」と同ネット会員に呼び掛け、地元の小学生をはじめ、大学教授やコンサルタント、大学生ら二十七人が本を執筆した。

同書では、これまで同町で展開されてきたまちづくりに関する活動内容や体験談を紹介。さらにまちづくりを行政主導から住民主導へ移行させる必要性やその方策、子どもへの人材育成、好きネットの役割などについて記されている。

井上会長は「宮原町では子どもたちが積極的にまちづくりに参加している。本を通じてみんなのまちづくりへの思いを伝えたい」としている。

一部千八百九十円。販売は、第三セクター「宮原まちづくり株式会社」〇〇965(53)5550が行う。

情報銀行は、住民がいつでも気軽に立ち寄れ、まちづくりについて情報交換で

「まちづくりの伝道師達」(A5判、二百四十六)を出版した。同町は面積が約十平方キロで同県内の自治体では最も小さく、人口は約五千人。十月に竜北町と合併し「氷川町」となる予定。

情報銀行は、住民がいつでも気軽に立ち寄れ、まちづくりについて情報交換で